

# 次期森林計画についての森林管理署の検討方向

## — 目 次 —

### 1. 現行計画の概要

- (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項
- (2) 国有林野の維持及び保存に関する事項
  - ① 生物多様性の保全(保護林)
  - ② 国民生活の安心・安全の確保に向けた効率的・効果的な治山事業の展開
  - ③ 森林病虫害の駆除又はまん延の防止に関する事項
- (3) 国民の参加による森林の整備に関する事項

### 2. 次期計画の検討方向

- (1) 管理経営上の課題
- (2) 計画内容

沖縄森林管理署

# 1. 現行計画の概要（平成31年4月1日～令和6年3月31日）

・ 沖縄北部森林計画区は、琉球列島の北東部に位置し、名護市、国頭郡、島尻郡の伊平屋村、伊是名村を包括する1市2町9村からなります。対象地の国有林野面積は12,017ha（不要存置林野31haを含む）であり、この内4,395haは沖縄の復帰に伴う政令により沖縄県に貸付をしています。

・ この国有林野は沖縄県北部の森林面積の14%に相当し、その内人工林が5%を占めています。

・ 本地域は、ヤンバルクイナ等の国指定天然記念物等に指定された貴重な野生動植物が生息し、やんばる国立公園に指定される他、令和3年7月に世界自然遺産地域に登録されるなど希少野生生物や貴重な生態系が残っているため、自然環境の保全・形成に配慮した管理経営を行うこととしています。



## (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項 機能類型に応じた管理経営

国有林野の管理経営に関する基本計画に即して、開かれた「国民の森林」に向けた取組を推進するため、個々の国有林野を重点的に発揮すべき機能に応じて、5つの機能類型に区分し、それぞれの発揮すべき機能に応じて管理経営を行っています。

機能類型区分	機能区分の考え方	目指すべき森林の姿	面積 (ha)
山地災害防止 タイプ	山地災害の防止及び土壌保全機能の発揮を重視	根や表土の保全、下層植生の発達した森林	69
自然維持 タイプ	原生的な森林生態系や希少な生物の成育・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を重視	良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の育成・成育に適した森林	3,007
森林空間利用 タイプ	保健、レクリエーション、文化機能の発揮を重視	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林	—
快適環境形成 タイプ	快適な環境の形成の機能を発揮を重視	騒音の低減や大気の浄化など、人の居住環境を良好な状態に保全する役割を持つ森林	—
水源涵養 タイプ	水源の涵養の機能の発揮を重視第一とすべき森林	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導を図る森林であり、森林資源の有効利用にも配慮	5,411

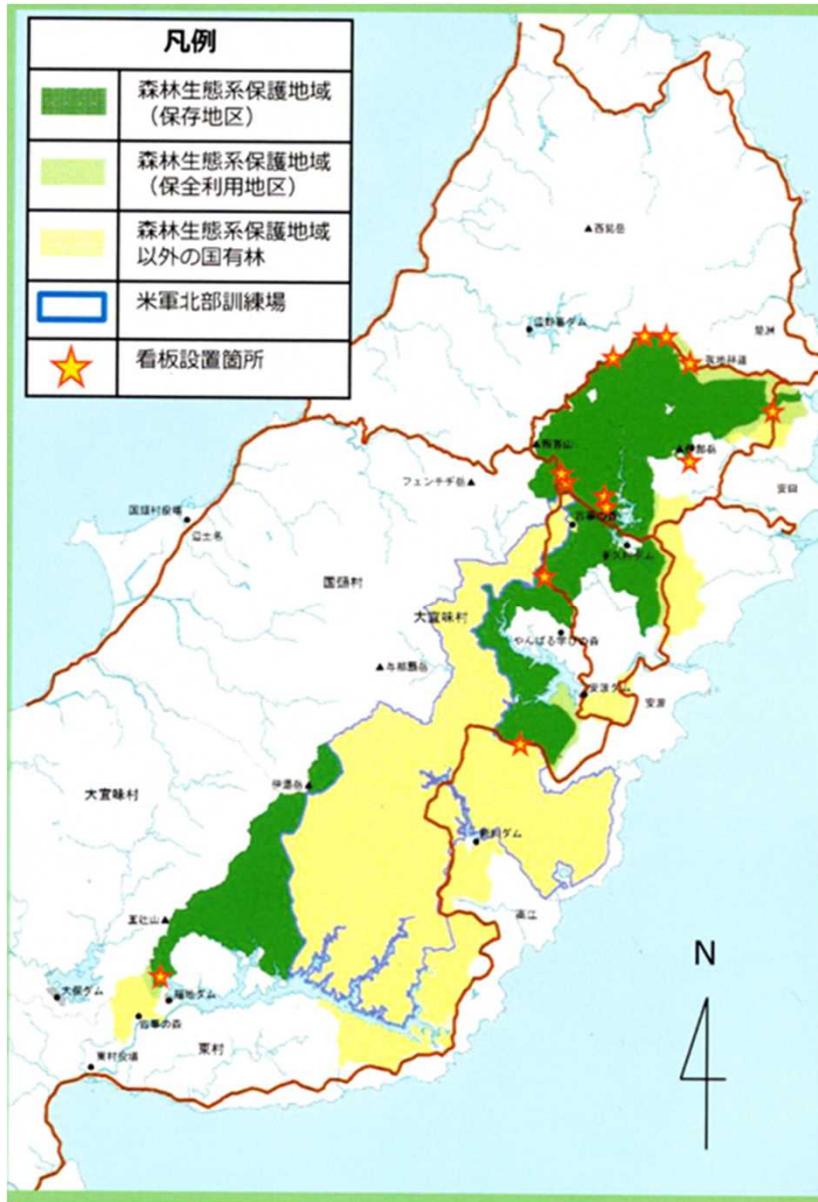
## (2) 国有林野の維持及び保存に関する事項

### ① 生物多様性の保全(保護林)

本計画区には、やんばる地域を特徴付ける固有種・希少種が多数生息・生育しており、これらについては保護林を設定し、適切に保護・保全を図っています。

種類	名称	特徴等	面積(ha)
森林生態系 保護地域	やんばる	<p>やんばる地域には、面的な広がりを持つスタジイ林やオキナワウラジログシ林など亜熱帯常緑広葉樹林帯、山地の稜線部に発達する雲霧林、溪流沿いの溪流植生など生物多様性に富む原生的な天然林が見られます。</p> <p>また、当地域にはノグチゲラ、ヤンバルクイナ、ヤンバルテナガコガネ等の当地域を特徴付ける動植物の固有種、希少種が多数生息・生育しており、遺伝資源的な価値、学術的な価値の高い森林生態系となっています。</p>	3,007  (内訳) 保存地区 2,769  保全利用地区 238

# やんばる森林生態系保護地域（保護林制度）



やんばるの森



ヤンバルクイナ(国指定天然  
記念物ヤンバルクイナ)

## ② 国民生活の安全・安心の確保に向けた効率的・効果的な治山事業の展開

安全・安心の確保に向けた効率的・効果的な治山対策に取り組んでいます。

生態系に配慮した工法等により工事を施工しています。

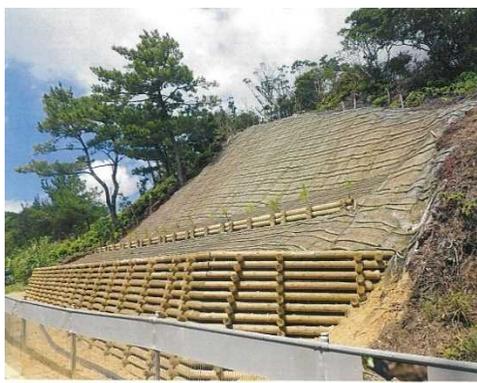
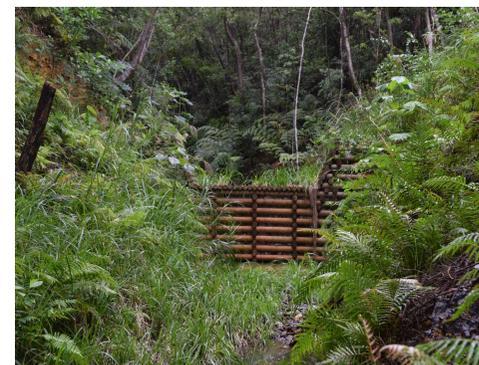
施工前



施工完了時



施工完了より4年後



### ③ 森林病虫害の駆除又はそのまん延の防止に関する事項

松くい虫被害は毎年発生しており、地元自治体と連携し、重点的、効果的な防除対策を進めます。また、本計画区には希少野生生物が生息・成育し、水源地ともなっているため防除に当たってはそれらに十分配慮し実施していきます。



松くい虫被害の松を伐倒し防除対策に努める

### (3) 国民の参加による森林の整備に関する事項 協定締結による国民参加の森林づくりの推進

国民参加の森づくりに貢献するため、国有林のフィールドを提供しています。

名称	設定の目的	活動の内容	協定者
木の文化を支える森 (古事の森)	沖縄県固有の歴史・文化の象徴である「首里城」を後世に残すため、修復時の資材となる樹木を育成する目的。	保育作業(下草刈り等)の実施及び森林教室等の普及活動を行う。	首里城古事の森育成協議会



## 2 次期計画の検討方向

### (1) 管理経営上の課題

- ・ 本計画区の国有林野が有する水源かん養機能や国土保全機能等の公益的機能を高めていく必要があります。
- ・ 本計画区は、令和3年7月に登録された「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」世界自然遺産地域に含まれ、自然環境の維持と保全に努める必要があります。
- ・ 本計画区には、絶滅のおそれのあるヤンバルクイナ、ノグチゲラ、ヤンバルテナガコガネ等が生息することから、これら希少な野生生物の生息環境保全に留意しつつ、国有林野を適切に管理していく必要があります。
- ・ 国民が安全・安心に暮らせる環境づくりに向けて、景観や自然環境に配慮した施工による治山対策に取り組む必要があります。
- ・ 国民参加による森林づくりへの関心が高まっていることから、これらの要請に適切に応えていく必要があります。

## (2) 計画内容

- ・ 公益的機能の維持増進を旨とする管理経営を行うとの方針の下、多様で健全な森林の整備・保全を行う方向です。
- ・ 本計画区は絶滅のおそれのあるヤンバルクイナや、ヤンバルテナガコガネ等が生息しており、この多様で貴重な森林生態系を保全する観点から、生息や繁殖の環境に配慮した管理経営を行い、森林の保護・管理に努める方向です。
- ・ 社会貢献活動として森林づくりに参加・協力したいとする企業等の要請に応えるため、「協定締結による国民参加の森づくり」制度等も活用して、森林整備を推進する方向です。
- ・ 民有林と連携して効果的な治山事業の実施に取り組むとともに、地域住民と協働して山地災害を減らす対策を進める方向です。

